


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成29年 11月 14日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第1号	質問議員	6番	石田照子	
件名	1. 魅力的なネーミングで集客を 2. 「山北子供数えうた」を今一度				
要 旨					
<p>1. 「ユーシンプルー」人気は、未だ衰えず、今秋は紅葉シーズンとも重なり、バスの臨時便にも乗り切れない人が出るほどの人気ぶりです。その人気からもうかがえるように、ネーミングには商品価値をも上げる重要な要素を持っていることがわかります。</p> <p>そこで、今一度観光スポットのネーミングを見直し、通称やサブネームとして使用してみてはどうでしょうか。また、合わせてネーミングに負けない環境整備も必要ではないかと思い、以下3点を質問します。</p> <p>ネーミングについて</p> <ul style="list-style-type: none">・澄んだ空気に無限の星が降り注ぐ大野山はその昔、「星山」と言われていたそうです。「星ふるさと大野山」など愛称としてどうでしょうか。・砕けたネーミングで意外性を呼ぶ方法も「まるみえ大野山」何が丸見えかと言うと富士山だったり、相模湾だったり想像をかきたてる名称などはどうか。 <p>ネーミングに負けない環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none">・人気のお試し住宅「ホテルの家」周辺では、舞うホテルの数も少なくなっていました。期待を裏切らないためにも、昔のようにホテルが群舞できる自然環境を整えるべきではないでしょうか。 <p>ネーミングは職員の感性を活かしては</p> <ul style="list-style-type: none">・人気スポットを厳選し、魅力的なネーミングを職員から募ったらどうでしょうか。 <p>2. 「山北子供数えうた」を産業まつりで披露しました。この数えうたは、昭和50年代の川村小学校のコーラス部の子どもたちが、東京の録音スタ</p>					

ジオでクラウン・オーケストラをバックに録音したものです。川村小学校の校歌を作られた米山正夫先生の作詞・作曲で、お茶の里、丹沢湖、ホタルの里、東名高速道路（ハイウェイ）やSLまで登場します。その歌声は、まるでひばり合唱団が歌っているかと思ってしまう程素晴らしく、振り付けもついています。地域を愛することは、その町の歴史や文化を知る事が重要だと思います。

このような、眠っている素晴らしい資源を掘り起こし広めることで、生まれ育った故郷を愛する山北っ子たちの育成と、観光PRにつながるのではないかと思います。以下2点を質問します。

- ・ 小学校の授業に採用し、数えうたを復活させることで、生まれ育った町を愛し、歌とダンスで町内を盛り上げることが出来るのではないのでしょうか。
- ・ 各種まつりやイベントなどで流し、多くの方々に聴いていただくことで観光PRにつながるのではないのでしょうか。

以上